

地震に対する備えをしましょう！

平成30年6月に発生した大阪北部を震源とした災害震度6弱の地震で本棚の下敷きになったり、ブロック塀の崩落に巻き込まれて亡くなるという事故が発生しました。

次のことをもう一度確認して地震に備えましょう。

- 家具類の転倒・落下防止対策をしましょう。
 - ・ 家具の転倒による負傷、火災や避難障害の発生を防ぐためには、家具類の転倒・落下・移動防止対策が非常に大切です。
 - ・ 家具の置き場所は、使いやすさ第一のレイアウトにしがちですが、被害を受けにくいレイアウトの工夫を行うことが大切です。
 - ・ 家具の転倒や移動などを防ぐため、家具を固定しましょう。
- ブロック塀の安全の確認をしましょう。
 - ・ 日頃からひび割れや傾き等の老築化が進んでいないかなどに目を配り、定期的に点検をすることが大切です。
- ※ 危険ブロック塀等撤去補助については、東かがわ市建設課へお問い合わせください。
- 避難経路を再確認をしましょう。
 - ・ 倒壊の可能性があるブロック塀などの危険箇所を避けて避難できるよう、避難経路を再確認をしましょう。

家具類転倒防止対策の進め方

(1) 安全空間の確保（家具の配置などを工夫する）

- ・ 避難の妨げとなる場所（出入口付近、廊下、階段等）には家具を置かない
- ・ 寝室や幼児・高齢者がいる部屋にはなるべく家具を置かない
- ・ 地震時に火を防ぐため、火気の周辺に家具を置かない
- ・ 家具の上にガラス製品等落下すると危険なものは置かない

(2) 家具を固定する方法は？

最も効果の高い家具類転倒防止対策器具はねじで固定するもの（L型金具等）です。賃貸住宅や大切な家具に傷をつけたくない方には、穴を開けなくて済む器具を組み合わせる方法をおすすめします。

